

京丹後市立図書館

2024年度

# おすすめの本

低学年  
1・2年生向き

『すてきなひとりぼっち』（のら書店）

なかがわ ちひろ/作



絵をかくのが好きな一平くん。クラスでもひとりぼっちになりがちですが、慣れてい<sup>な</sup>ます。そんなある日、すてきな宝物<sup>たからもの</sup>をたくさん見<sup>み</sup>つけて…。一平くんの小さな発見<sup>ちい</sup>をあたたかく描いた絵本。

『はたけの絵本』（創元社）

いわむら かずお/著



「いわむらかずお絵本の丘美術館」の農場での、野菜<sup>やさい</sup>と動物の観察から生まれたハートウォーミングな物語。 「だいこんとのうさぎ」など、1月～12月のお話を収録<sup>しゅうろく</sup>する。朗読動画を視聴できるQRコードつき。

『まほうの夏』（岩崎書店）

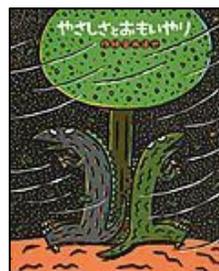
藤原 一枝/作 はた こうしろう/作 はた こうしろう/絵



夏休みに入<sup>はい</sup>っても退屈<sup>たいくつ</sup>していた僕と弟はおじさんのハガキに大喜<sup>およろこ</sup>びして田舎<sup>いなか</sup>にいった。食物<sup>たべもの</sup>はおいしく虫取<sup>むしと</sup>りも面白<sup>おもしろ</sup>い。圧巻<sup>あつかん</sup>は海釣<sup>うみづ</sup>り。友だちもできたよ。僕たちをまっ黒<sup>くろ</sup>にした夏休みー。

『やさしさとおもいやり』（ポプラ社）

宮西 達也/作・絵



むかし、山の上に大きな赤い実の木<sup>あか</sup>がありました。おなかをすかせたティラノサウルスとゴルゴサウルスがやってきて、けんかをはじめますが…。ティラノサウルスシリーズ第13弾<sup>だん</sup>。

『草はらをのぞいてみればカヤネズミ』（小学館）

ゆうき えつこ/文 福田 幸広/写真



日本一小さなネズミ、カヤネズミ。大人の親指ほどの大きさで、かつては草原で多数見られたが、今では希少動物となった。草で編んだまるい巣で、一年中くり返されるカヤネズミの出産と子育てを写真で紹介する。

『リパの庭づくり』（のら書店）

福井 さとこ/作・絵



リパは、うでのいい庭師。ある日、庭づくりが大好きなりシュカおばあさんを訪ねると、庭は荒れ放題になっていました。リパは、仲間の野鳥シーコルといっしょに庭づくりを始め…。命あふれる庭が生きかえる様子を描いたものがたり物語。

『竹とぼくとおじいちゃん』（ポプラ社）

星川 ひろ子/著 星川 治雄/著



「じいちゃんがこどものころはよ、竹でおもちゃもつくったもんだいね」1年生のつばさが、おじいちゃんからおしえてもらったことは…。竹の成長や、おじいちゃんと孫の交流を写真で綴る。

『番ねずみのヤカちゃん』（福音館書店）

リチャード・ウィルバー/さく 松岡 享子/やく 大社 玲子/え



人に見つからないように暮らしていたねずみの親子。ところが、末っ子ねずみの声があまにも大きくて、住処にしていた家の夫婦に気づかれてしまいます。捕まえようと手を焼く夫婦の家に、ある夜泥棒が忍び込んで…。★

『エレベーターのふしぎなボタン』（ポプラ社）

加藤 直子/作 杉田 比呂美/絵



サキがエレベーターにのると、見たことのない緑のボタンが。押してみるととどんと上にあがり、着いたところは森でした。灰色のネコに誘われて、森の小道を歩いていくと、不思議なおばあさんに会って…。

『からっぽになったキャンディのはこのおはなし』（小峰書店）

大久保 雨咲/作 出口 かずみ/絵



贈り物として、男の子の家にやってきたキャンディのはこ。毎日楽しく暮らしていましたが、キャンディたちが半分くらい、いなくなったころ、「あれ?」と思って…。みんないなくなってしまうたら、ひとりぼっちの箱になるのかな?

無断での複写・転載を禁止します。本の内容紹介は★を除き、TRC MARCより転載しています。

ほかにもあるよ おすすめの本

『おばあちゃん、ぼくにできることある?』  
ジェシカ・シェパード/さく  
おびか ゆうこ/やく  
(偕成社)

『山のとしょかん』  
肥田 美代子/文 小泉 るみ子/絵  
(文研出版)

『いき』

中川 ひろたか/作 北村 裕花/絵  
(アリス館)



貸し出し中の本は予約もできます。くわしくは職員におたずねください